

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

間質性肺疾患に合併する肺高血圧症に対する薬物治療の短期効果と予後の関連性の検討

[当院研究責任者] 部署名 救急部 氏名 寺町 涼

[研究の背景]

間質性肺疾患は肺に様々な炎症や線維化を来す疾患群の総称で、様々な原因があります。この病気では、原因となる病気や肺の線維化、低酸素血症などにより肺高血圧症を合併することがあり、患者さんの予後に大きく関わるとされています。間質性肺疾患に合併した肺高血圧症に対して、肺動脈性肺高血圧症などに用いられる肺血管拡張薬が使用されることがあり、有効な場合は症状や検査データなどが改善することがこれまでに報告されています。一方で、肺の血管が広がり障害を受けた肺の血流が増えることで、換気と血流のアンバランスが生じ、低酸素血症などの合併症を起こす可能性があります。そのため、間質性肺疾患に肺高血圧症を合併した患者さんに治療効果を期待して肺血管拡張薬を用いる場合は、合併症や治療効果を慎重にモニタリングすることが重要ですが、治療効果を確認する方法の1つである右心カテーテル検査は患者さんの身体的負担が大きく、そのためより簡便かつ負担の少ない評価方法が望まれています。近年、肺動脈性肺高血圧症に対して自覚症状を基にした WHO 肺高血圧症機能分類、血液検査項目である BNP(または NT-proBNP)、6 分間歩行距離を基にしたリスク分類が治療開始後の予後の推定に有用であることが報告されました。この指標に用いられる項目は間質性肺疾患の診療でも日常的に行われるものですが、間質性肺疾患に合併する肺高血圧症においても有用かは分かっていません。

[研究の目的]

本研究ではの肺血管拡張薬を使用された間質性肺疾患に合併する肺高血圧症の患者さんを対象に、治療前後でリスク評価を行い、リスク分類により予後に違いがあるかを検証することを目的にしています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2007 年 5 月から 2025 年 6 月に公立陶生病院にて新たに肺血管拡張薬が開始された間質性肺疾患に合併する肺高血圧症の患者さんのうち、治療開始前後に WHO 肺高血圧症機能分類、BNP または NT-proBNP、6 分間歩行試験による評価が行われた 18 歳以上の患者さん。

●研究期間：研究実施承認日から2029年12月31日

●利用する検体、カルテ情報

診療情報(カルテ)から、年齢、性別、既往歴、間質性肺炎診断名、WHO肺高血圧症機能分類、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、呼吸機能、6分間歩行試験、右心カテーター検査)、治療内容、肺高血圧症診断日、生存情報などの情報を収集します。

●利用する検体、カルテ情報の管理

本研究で用いるカルテ情報は、当院のみで利用します。

#### [研究組織]

##### 1. 研究代表者

公立陶生病院 救急部・部長・寺町涼

##### 2. 研究分担者

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・富貴原淳

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・片岡健介

公立陶生病院 呼吸器・アレルギー疾患内科・部長・木村智樹

#### [個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学術集会や英文学会誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

#### [問い合わせ先]

公立陶生病院

所属部署 救急部 氏名 寺町 涼

---

電話 0561-82-5101

FAX 0561-82-9139